

2001年9月

# ハテナサテナ

人気デザイナーによるかわいいキャラクターを使用した  
爽快で奥深いイラストロジックパズル

発売日：2001年10月4日（木）  
希望小売価格：5,200円（税別）  
対応機種：ゲームボーイアドバンス(GBA)用  
ジャンル：ノンアクションパズル

株式会社ハドソン（本社／札幌市、代表取締役社長／工藤 浩）は、2001年10月4日（木）、ゲームボーイアドバンス用の新作ソフト「ハテナサテナ」を発売します。イラストロジック（別項参照）をベースに、ハドソン独自の新ルールを採用し爽快な演出を施した、ノンアクションパズルゲーム。人気番組「ウゴウゴルーガ」のキャラクターデザインや、人気ファッションブランド「スーパーラヴァーズ」など、数々の人気キャラクターを生み出した田中秀幸氏デザインによる、ファンシーな世界観やキャラクターたちも魅力の一つです。



©2001 HUDSON SOFT

ハドソンオリジナル「カラボール」を採用した新感覚のイラストロジックパズル



プレイヤーは、地球の平和を守る秘密組織「SCRPU」の調査員となり、宇宙人たちとコンタクトを取って地球にやってきた目的を探ります。病原菌に冒された故郷の星を救うためワクチンを探しにやってきた「グレコ」、地球制服を企む「アズアブ」など4人の宇宙人は、それぞれの目的達成のために様々なことを知りたがっています。彼らの質問にパズルを解いて（絵を完成させて）答えなければなりません。

宇宙人とのコミュニケーションに用いる絵は、5×5マスから30×20マスのフィールドに隠されています。「その列に該当する色がいくつあるか」を示すタテ・ヨコの数字ヒントと、「（色を塗った）マス目に隣接する4つのマス目の中に同じ色がいくつあるか」を示すカラーヒントを組み合わせた、新パズルルール「カラボール」を使い、マス目を色で塗りつぶして絵を完成させます（詳細別項参照）。カラーヒントが最大（通常は4）の場合は、連鎖的にその周囲が同じ色で塗られていく「オートドロウ」が発生。一定以上連鎖させると「オートドロウアニメーション」による派手で爽快感あふれる演出も用意しています。

イラストを完成させて宇宙人の質問に答えたりプレゼントをあげたりすると、宇宙人との友好度が上がり、様々なイベントが発生してストーリーが展開していきます。

ゲームモードは宇宙人とのコミュニケーションを図る「ストーリーモード」のほか、オリジナル問題を作成できる「エディットモード」や、問題を次々と解きつづける「ベーシック問題」モードやゲームのルールを遊びながら覚えられる「レッスンモード」など様々なものを用意しています。



i アプリ版の配信、「スーパーラヴァーズ」とのタイアップなど多方面に展開中!

キャラクターデザイン担当の田中秀幸氏が描く、コミカルな中にもブラックな雰囲気漂う独特なキャラクターたちも必見。田中氏は、フジテレビの人気早朝番組「ウゴウゴルーガ」のキャラクターデザインや、女子高生を中心にブレイク中のファッションブランド「スーパーラヴァーズ」のデザイナーとして活躍している超売れっ子デザイナー。「スーパーラヴァーズ」、姉妹ブランド「ラヴァーズハウス」と全面タイアップし、「ハテナサテナ」のオリジナルTシャツ、携帯ストラップなどのグッズ発売も実施予定です。アクション性を排したゲームシステムと相まって、女性ユーザーの獲得も狙います

また、NTTドコモの携帯電話「i アプリ」サービス向けにも「ハテナサテナ」を配信開始。当社の「着信 あぶり」サイト(月額情報料300円)は、20種類以上のゲームをダウンロードできるゲーム総合サイトとして人気ですが、9月17日(月)からは「ハテナサテナ」が追加されました。GBA版と同様のゲームシステムで合計18問を楽しめます。

さらに、当社のゲームポータルサイトwebbee (<http://www.webbee.net/>)でも、「ハテナサテナ」の体験版を遊べるようになっています。

## \*オリジナルイラストロジック「カラボルール」とは?

イラストロジックとは、様々なヒントを元に「フィールド」と呼ばれるマス目に色を塗っていき、そこに隠された絵を完成させるパズルゲームです。「ハテナサテナ」では、フィールドの脇に表示されている「タテ・ヨコヒント」と、色の付いたマス目を選択すると表示される「カラーヒント」の2つを組み合わせた、当社オリジナルの「カラボルール」を採用しました。

タテ・ヨコヒントは、「その列に該当する色がいくつあるか」を数字で示しています。下図1では、一番左の縦列に、赤が2マス、黄が3マス隠されています。「カラーヒント」は、選択したマス目に塗られたのと同じ色が、縦横に隣接するマスの中にいくつ存在するかを示します。下図2では、選択したマスに隣接する4つのマスのうち2つまでが、選択したマスと同じ青であることを示しています(図3)。

この2つのヒントからマス目の色と数を推理し、絵を完成させていきます。例題の完成図4は、アルファベットの「G」という文字になります。

